

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	安川暁美
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	石上神宮鏡池棲息ワタカ				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1953年(昭和28)3月23日				
所在地	天理市布留町384番地				
所有者 管理者	石上神宮				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	池畔に設置				
公開	常時				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 確認は出来なかった				
当面の課題	特になし。池の水は雨水や山からで循環はあまり良くないと感じたが、小型ではあるが近年エアープンプの設置がなされ、水中に酸素を取り込んでいる。 外来生物も同池内に棲息しているが影響は見られない。(石上神宮職員の説明による)				
今後の課題	奈良県レッドリストのカテゴリーでは絶滅危惧種ではなく郷土種(県民が大切にしている、もしくは大切にしたい種)として評価。郷土種と位置付けられているが、奈良県においてはカテゴリーの見直しと共に保全し、今後もワタカの保護に努めて欲しい。				
その他 (由緒など)	日本特産の魚で、琵琶湖及びこれに接続する淀川にのみ産するとされている魚である。本県下では天理市大字仙の内町、内山永久寺本堂池に棲息していたことが知られているが、池水の涸渇や濫獲で絶滅するのを恐れ、東大寺鏡池や石上神宮鏡池などに移殖され、現在この二池に繁殖しているのみである。 (奈良県教育委員会編 奈良県史跡名勝天然記念物集録2より抜粋)				
コメント	回ワタカを確認することは出来なかったが、石上神宮職員の説明によると、水温が上がってくると水面にその姿を見ることが出来るという。石上神宮のブログ(2018年7月25日)の写真に見ることが出来る。環境省のレッドリストでは絶滅危惧種1B(EN)として評価され、滋賀県でも絶滅危惧種として評価。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	安川暁美
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	石上神宮鏡池棲息ワタカ
------	-------------

ワタカ(大阪府立環境農林水産総合研究所HPより)	奈良県教育委員会設置の説明板
--------------------------	----------------



鏡池



鏡池に設置のエアープンプ



内山永久寺より移築の拝殿・国宝指定(鏡池東側)



石上神宮境内案内板(鏡池傍の休憩所)

